

令和 4 年度狛江市総合防災訓練実施計画

1 目的

(1) 長期避難所生活を想定した運営能力の強化

平成 27 年から総合防災訓練において、発災初動の避難所開設訓練を実施し、先般の総合水防訓練でも全避難所の一斉開設及び一般市民の受入れ訓練を実施し、全ての避難所においてスムーズに開設及び市民の受入れができることを確認できた。一方で、首都直下地震など大規模な震災については、水害とは異なり避難所生活が長期間に及ぶことが予想される。

令和 4 年度の総合防災訓練では、これまで実施してきた各避難所の初動訓練から、次のステップとして発災後 4 日以降の避難所運営を想定した訓練を実施する。特に支援物資の輸送及び配布についての訓練を中心に実施し、実際に起こりうる課題を抽出し、改善を図っていく。

(2) 災害時、避難所生活を行わない共同住宅との連携強化

大規模な共同住宅に対する管理組合を通じた支援物資の配給を行うことにより、管理組合との連携要領の検討を進めて自宅避難に対する不安を払しょくし、災害時の避難所避難者数の抑制による避難所の負担軽減を図る。

(3) 市民参加型防災体験及び展示による防災意識の啓発

地震による被害軽減のためには、市民一人ひとりが高い防災意識をもって、地震に備えることが必要である。しかし、大きな震災の直後は、防災意識は高まるが、時間の経過とともに低下する傾向がある。

については、市主催で実施する総合防災訓練の機会を捉え、多くの市民にもう一度防災について考えてもらう機会とし、効果的な広報を行うことで市民の防災行動力向上を図る。

2 訓練概要等

(1) 日時

令和 4 年 10 月 30 日（日）

(2) 訓練概要

訓練当日 3 日前の 10 月 27 日に M7.3 の多摩東部直下地震が発生し、狛江市では震度 6 強を観測

避難所には家屋が倒壊した市民 130 名以上が長期化の予想される避難所生活を送っている状況を想定とし、「長期避難所生活を想定した運営能力強化」「災害時、避難所生活を行わない共同住宅との連携強化」「市民参加型体験及び展示による防災意識の啓発」を目的とした次の訓練を実施する。

3 訓練内容

(1) 被災後4日以降を想定した避難所への物資輸送及び配布訓練	
場 所	狛江第三中学校避難所
時 間	10月30日(日)8時30分から13時00分まで
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者役の受入れ・情報整理 ・協定締結事業所による支援物資集積所から支援物資の輸送 ・避難所の支援物資の受入れ(積み下ろし・員数確認・搬送) ・支援物資配布計画の作成 ・支援物資の配布等(周知・配布・記録・要望のとりまとめ)の実施 ・振り返りによる情報整理
参加職員	安心安全課、教育部避難所担当、市民生活部災害時支援物資担当、避難所運営協議会、協定締結事業所
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本訓練は、一般市民の参加はなし。 ・教育部担当及び各避難所運営協議会から各10名の人員を検証・避難者役で参加、訓練終了後は、別途、訓練参加者の意見等を含めた成果の取りまとめを行い、マニュアル化を図る。

(2) 共同住宅への支援物資配送・受入れ訓練	
場 所	狛江ハイタウン(共同住宅)(予定)
時 間	10月30日(日)10時00分から11時00分まで
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・配布計画の作成 ・支援物資輸送に伴う共同住宅管理組合との調整 ・支援物資集積所から支援物資の輸送 ・支援物資の払い出し(共同住宅管理組合で受入れ)
参加職員	安心安全課、市民生活部担当、共同住宅管理組合、協定締結事業所
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本訓練は、一般市民の参加はなし。 ・共同住宅管理組合との連携を確認し、今後の地域防災計画見直しのための知見とする。

(3) 市民参加型防災体験及び展示	
場 所	狛江市役所市民ひろば
時 間	10月30日(日)9時00分から13時00分まで
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・狛江市消防団による初期消火訓練・煙体験 ・狛江消防署による防災体験(はしご車乗車体験、消防車両展示、地震動シミュレーター体験、バッテリーカー、ミニ防火衣) ・起震車による地震体験 ・自衛隊によるVR体験・車両展示 ・感震ブレーカー、家庭用消火器、住宅用火災警報器、家具転倒防止器具等の防災グッズの展示

	・その他関係機関による体験・展示
参加職員	安心安全課、総務部応援職員、狛江市消防団、関係協力機関
その他	